

# 入江あき子



## 特集 4月臨時県議会 4/30 新型コロナウイルス対策 健康福祉委員会で質疑しました

### 医療崩壊を防ぐ

#### 30億円では足りない 県のスピーディーな 支援策を!!

4月30日、臨時県議会が開かれ

ました。新型コロナウイルス対策として、130億円の補正予算案（中小企業再建支援策100億円、臨時医療施設の開設30億円）に加え、緊急小口資金貸付等に約17億円と軽症者等のための宿泊施設確保に約32億円の専決処分が提案されました。

同日開かれた健康福祉常任委員会において、私は新型コロナウイルス感染拡大に伴う県の医療提供体制のあり方について、主に質疑しました。

#### 入院ベッドは 足りているのか？



県は爆発的な感染拡大が発生した場合の病床不足に備え、「臨時の医療施設」（新型コロナウイルス特措法第48条1項に規定）が必要と判断。中等症患者を受入れるための施設（1000床規模）を募張メッセに5月中旬以降開設すると

しています。

現時点において、実際どれくらい病床が確保できているのかと質したところ、「移行期にある現状で約440床、蔓延期で約770床の見込み」との答弁。しかし、

#### フェーズ（局面、時期）ごとの目標病床数

区分	4/2 現在	移行期 4/30 時点	蔓延期
アラート	イエロー	オレンジ	レッド
重症者	～20人	20～100人	100～300人
中等症患者数	～100人	100～500人	500～2500人
新型コロナ医療体制	感染症指定医療機関	重点医療機関 一般医療機関	重点医療機関 拡充 一般医療機関 拡充
<b>目標病床数</b>	<b>400床</b>	<b>850床</b>	<b>1700床</b>

表：千葉県資料に基づき作成

#### 厳しい医療現場

特に感染者が急増している  
印旛や東葛地域  
の中核病院では、  
コロナ患者受入による医療従事者の負担や院内感染のリスク、風評被害や経営への圧迫等々、さまざまな問題が生じています。



医療従事者の  
感染による人手  
不足、救急搬送の  
受入制限や手術の延期など、すでに通常の診療体制に支障をきたしている病院もあります。また、PCR検査体制が思うように拡充されない中、地域の診療所でも、感染が疑われる患者対応にかかわる負担とリスクに直面しています。コロナ患者のトリアージ機能が求められています。



常任委員会での質疑を終えて

4月29日現在の入院者は264名、入院待機者は248名であり、実際の医療現場では入院受け入れが厳しい状況です。

#### 自宅療養から ホテル療養へ

一方、新たにスタート

したホテルでの療養施設については、32億円の予算で2000室確保を目標に進められています。現在、成田、柏、千葉、船橋の4市で合計526室を確保し、軽症者を病院から移し始めました。今後、概ね150室程度のホテルを確保する見通しです。また、自宅療養の軽症者死亡事例を踏まえ、国は原則自宅療養を見直すよう通知しました。これを受け、県でも自宅療養者や軽症者のホテルへの直接入所を検討しているとのこと。症状急変や家庭内感染を防ぐうえでも必要な方針転換です。

#### スピーディーな対応を!

県にいま求められているのは、迅速かつ柔軟な対応です。医療崩壊を防ぎ、必要な病床を確保するためには県独自の財政支出が不可欠です。他県では、すでに医療機



関への様々な支援策を打ち出していますが、千葉県の今の補正予算では、国費100%の財源による「臨時の医療施設」しか盛り込まれていません。そこで、以下について要望し、補正予算に「賛成」しました。

- コロナ患者受入医療機関や医療従事者等に対する財政支援を早急に行い、さらなる病床確保やタイムリーな「臨時の医療施設」開設につなげる。
- 地区医師会と連携して「地域外来・検査センター」を早急に設置すること。
- 国の緊急包括支援交付金の活用、県の一般財源の組替えや新たな起債により、必要な対応をする。

臨時議会終了後、具体的な要望事項をまとめた「新型コロナウイルス対策補正予算の編成に関する要望」を会派で提出しました。引き続き県当局の迅速な対応を働きかけていきます。

#### 困っている人に 早く送金を!

#### 収入減少世帯への 緊急小口資金貸付

緊急小口資金貸付は、新型コロナウイルスの影響による休業等で当面の生活費が厳しい方が市町村社会福祉協議会（社協）に申請し、県社協が貸付決定し、送金する流れとなっています。そのための原資約14億円が国から県に入ってきましたが、4月17日時点での千葉県の貸付決定件数が他県に比べて桁違いに少ないことが判明。そこで、臨時議会に先立ち、連休中の県社協の対応や市町村社協への応援体制について働きかけてきました。健康福祉常任委員会では、改めて県及び市町村社協の貸付業務に係る職員の増員や人件費補助について確認し、事務処理の迅速化を求めました。



# いのちと暮らし、守り抜く

あなたの声を  
かに!

## 新型コロナウイルス対策 県への要請活動を行っています

新型コロナ感染拡大により、あらゆる方面で深刻な影響が広がっています。

刻々と変化する情勢を捉えながら、現場や当事者の声を政策提案につなげ、県政に届けています。

会派「千葉民主の会」として、県への要請活動を続けています。

### 4/20「新型コロナウイルス感染症への対策に関する緊急要望」を提出



県幹部と意見交換

4月7日「緊急事態宣言」を踏まえ、

- ①医療・福祉 ②経済支援 ③教育
- ④その他の課題について、スピード感をもって各種対策に

取り組むよう要請。

詳しくはこちらをご覧ください→



教育

### 長引く学校休業 子どもたちの学ぶ環境を どうするか？

学校休業により、家庭学習を余儀なくされています。しかし、ICTを活用した授業の取組み（授業動画、同時双方向オンライン授業、テレビ



放送の活用など）は、自治体間で大きな格差があります。

また、学校再開に向けて、土日登校や夏季休暇の短縮など、様々な課題があります。

子どもたちが学習の遅れ等の心配なく安心して学べるよう、現場の先生方と取り組んでいきます。

### 福祉 障害福祉施設 通所サービスの継続を

身体や知的障害のある方が利用する通所サービスを休止する事業者が増え、困っているとの声を受け、4月17日当事者の方々と県担当課と面談。感染防止策を講じながら継続できるよう支援してほしいと訴えました。同じようなことが介護の現場でも起きています。終わりの見えないコロナ禍の中、日常生活を取り戻すための方策も考えていかなければなりません。

### 経済 学校給食 食材納入業者への補償を

学校の臨時休業に伴い、国から保護者への給食費返還と給食食材納入業者に対する補助制度が3月10日付で通知されました。4月20日に県立学校の状況を確認したところ、業者への補償は未着手でした。早期対応を求めた結果、ようやく業者へのアンケート実施につながりました。



### 4/30「新型コロナウイルス対策補正予算の編成に関する要望」を提出



臨時県議会終了後、①一般会計当初予算組換えの実施②県内事業者の継続的な支援策③医療体制支援について要請し、新たな補正予算の編成を要請。

特に、医療体制の整備については、早急な対応を具体的に求めました。（抜粋）

- ★感染症患者を受入れる病院への協力金・補助金を設定すること。
- ★感染症患者の治療に携わる医療従事者等に対し、県が特殊勤務手当を支給すること。
- ★地域医師会や医療機関との連携により、PCR検査体制の拡充や外来診療体制を早急に整備すること。
- ★ICTシステムの導入により、病床情報の「見える化」や入院調整の迅速化を行うこと。



↑詳しくはこちらをご覧ください



### 議員報酬削減

6月議会に向けて議論します

コロナ対策を進めるうえで、県独自財源の確保が重要です。千葉県は、昨秋の台風・豪雨被害の復旧のため、「貯金」にあたる財政調整基金を約500億円取り崩す予定です。年度末の基金残高はわずか6億円で、県民一人当たり約100円という厳しさです。しかし、この緊急時に「お金がないから」では済まされません。

県民のいのちと生活がかかっていきます。延期が決まったオリパラ関連やアクアラインマラソン予算の付替え、優先順位の低い事業の見直し、新たな起債や有価証券等の売却など、あらゆる検討を行い、財源を捻出しなければなりません。議員報酬削減もその一つです。議会で議論を尽くし、決めていきます。

### 交通危険箇所の改善に 取り組んでいます



神門八街線 現地

### 入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)  
電話 /043-420-8758  
fax /043-420-8759  
mail/groundwater.sakura@gmail.com

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト URL/https://irieakiko.jp/

いのちと暮らし、守り抜く



#### プロフィール

1965年  
宮城県仙台市生まれ  
1988年  
国際基督教大学(ICU)  
教養学部社会科学科卒業

#### 2003年4月～

佐倉市議会議員

#### 2011年4月～

千葉県議会議員

#### 2019年4月～現在

千葉県議会議員 3期目  
健康福祉常任委員会委員  
会派「千葉民主の会」政策調査会副会長  
千葉民主連合所属  
連合千葉議員団会議所属  
千葉県地方自治研究センター所属  
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属  
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属  
千葉県フリースクール等教育機会確保議員連盟所属  
全国災害ボランティア議員連盟所属